

# 次世代スーパーエンジニア養成コース概要

## 要旨

### 趣旨

グローバル社会の現代において、産業界は日々変化する環境下にあります。この中で日本企業の競争的優位を支える基盤は、試行錯誤しながらも創り上げる連続的イノベーションです。この基盤を強化し富山県の産業界の更なる発展を目指すため、富山大学は、大学教員と企業人による「地域総がかり」の企業中核人材養成コースを展開しています。

このコースでは、先端研究に携わる大学教員の基盤科学技術とベテラン技術者による企業間の壁を越えた実践技術の集大成を有機的に結びつけることで、「専門分野の深み」を学ぶことにとどまらず「産業界で必要とされる幅広い知識」、「産業界やマーケットの動きに柔軟に対応できる能力」を併せ持つスーパーエンジニアの養成を目指しています。

### 教育方針

以下3つの視点に立ち、将来の企業の技術を統括するリーダー・世界に通用する専門技術者の養成を目指します。

- ①知識を持つ力：基盤技術にかかわる専門知識、関連技術分野に対する幅広い知識を習得する力
- ②行動する力：技術、プロジェクトのマネジメントを行い積極的に挑戦する力
- ③意識する力：使命感、意欲があり、変化に対して柔軟に対応し企画・判断できる力

### 開講科目

大学院修士課程実践教育特別講義科目として、専門技術論と産業技術論の2種類を開講しています。

#### 【専門技術論】

基盤科学技術の講義を6科目開講します。ここでは原理原則に基づく「専門分野の深み」を大学院レベルの講義で学ぶことができます。主として大学教員が講師を務めます。

#### \*各科目名

開講日程	科目名
平成26年4月19日～6月7日	エレクトロニクス工学特論Ⅰ
平成26年6月14日～7月26日	エレクトロニクス工学特論Ⅱ
平成26年8月2日～9月20日	機械・材料工学特論Ⅰ
平成26年9月27日～11月8日	機械・材料工学特論Ⅱ
平成26年11月15日～1月10日	医薬品基礎工学特論
平成27年1月24日～3月7日	医薬品製造プロセス工学特論

#### 【産業技術論】

産業別の5科目と幅広い分野を網羅するMOT (management of technology) の合計6科目を開講します。ここでは「産業界で必要とされる幅広い知識」、「産業界やマーケットの動きに柔軟に対応できる能力」を、企業現場で役立つ実践的な事例を主体にした講義で学びます。また、企業のプロジェクトXがどのように生まれ育っていったかも講義します。県内企業に加えて国内関連主要企業のキャリアエンジニアも講師を務めます。

#### \*各科目名

開講日程	科目名
平成26年4月12日～6月7日	実践技術経営特論 MOT
平成26年6月14日～7月26日	電気・電子部品産業特論
平成26年8月2日～9月20日	アルミ加工産業特論
平成26年9月27日～11月8日	機械・部品工具産業特論
平成26年11月15日～1月10日	プラスチック産業特論
平成27年1月24日～3月7日	医薬製剤産業特論

※講師、会場は都合等で変わることがあります。その都度受講生の皆様に連絡しますので、事務局からのお知らせは必ず目を通してください。

※各科目に工場見学があり、見学コースは、各講義計画の最後に記載されています。定員枠により希望に添えない場合があります。日程、見学先等は決まり次第受講生の皆様に連絡します。

## 募集定員

各科目とも募集定員を設けておりません。ただし、受講生が少人数の場合、開講しない場合があります。

## 各科目の単位修得

- 1) 単位数は各科目 2 単位です。
- 2) 科目の単位修得は、出席（15 回中 10 回以上の出席）によって行います。
- 3) 平成 27 年 3 月 14 日の修了式に、履修した科目毎の履修・成績証明書を発行します。

## コースの修了と履修認定

- 1) コース修了には、【専門技術論】と【産業技術論】の科目の中から、2 年間に 5 科目 10 単位以上を取得することが必要です。ただし実践技術経営特論 MOT の科目修得は必須とします。
- 2) 所定の単位（10 単位以上）を履修した者には、富山大学（大学院理工学教育部）が大学院修士課程実践教育特別講義科目修得単位の認定を行い、修了式にて「スーパーエンジニア」の履修・成績証明書を発行します。
- 3) 修了者が富山大学の大学院修士課程に入学された場合は、上記で修得した単位を修士課程における修得単位として合算することが可能です。

## 受講手続

### 受講申込書の提出

受講を希望する際は、受講申込書に必要事項を記入の上、次世代スーパーエンジニア養成コース事務局宛に E-mail 又は FAX にてお申込みください。受講申込書は次世代スーパーエンジニア養成コースのホームページ (<http://www3.u-toyama.ac.jp/manabina/>) からダウンロードするか、パンフレットまたは本要項の受講申込書をご使用ください。

#### 【次世代スーパーエンジニア養成コース事務局】

富山大学 地域連携推進機構 産学連携部門

次世代スーパーエンジニア養成コース担当 山名、新井、田中

E-mail: [supereng@ctg.u-toyama.ac.jp](mailto:supereng@ctg.u-toyama.ac.jp) / ファックス：076-445-6939 / 電話：076-445-6943（直通）

住所：〒930-8555 富山市五福 3190 / ホームページ：<http://www3.u-toyama.ac.jp/manabina/>

### 受講資格

- 1) 4 年制またはそれ以上の大学を卒業していること
- 2) 高等学校卒業者については、企業等で 4 年以上の実務経験を有していること
- 3) 高等専門学校または短期大学卒業者については、2 年以上の実務経験を有していること

### 受講申込み

平成 26 年度の受講生募集締切りは以下の通りです。

- 1) コース受講  
募集締め切りは平成 26 年 3 月末日です。4 月より開講しますので、お早めにお申込み下さい。
- 2) 科目受講  
各科目の申込みは随時受け付けています。開講日の 2 週間前までにお申込み下さい。
- 3) それぞれの科目の開講式にて富山大学より受講証を交付します。受講証の期限は公布日から平成 27 年 3 月末までです。期限を過ぎた受講証は各自で処分をお願いします。

## 受講料

開講後、「受講料振込依頼書」を勤務先の受講生（ご本人）宛に郵送にてお送りします。

※受講申込後に郵送先が変更となった場合は、講義の開始日までにお知らせください

### 1) コース受講の場合

受講料は148,000円（5科目10単位分）を徴収します。ただし、5科目10単位以上の受講を希望される場合には、1科目につき29,600円を別途徴収します。

### 2) 科目受講の場合

1科目につき29,600円を徴収します。

## 開講曜日・時刻

開講日は、平成26年4月12日から平成27年3月7日の土曜日の昼間のみです。

時刻は下記の通りです。

1限目（9：00～10：30）、2限目（10：45～12：15）、3限目（13：30～15：00）、4限目（15：15～16：45）

※初回は開講式を行うため下記の時間に変更となります。

専門技術論：開講式（8：45～9：15）、1限目（9：15～10：45）、2限目（11：00～12：30）、

産業技術論：開講式（13：30～14：00）、3限目（14：00～15：30）、4限目（15：45～17：15）

## 講義会場

講義を行う教室は、原則として富山大学産学連携部門研修室（2F）とします。ただし、実習、演習その他の理由により、会場を変更することがあります。アクセスは裏表紙の案内図をご参照ください。

## 受講時の注意

### 受講生の義務

受講生は、受講にあたり本学が行う教育及び研究に支障を来さないように努めていただくと共に、講義担当教員及び職員の指示に従ってください。

### 受講の停止

受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱す又は受講生として相応しくない言動をした場合、受講を停止することがあります。なお、受講停止の場合であっても既納の受講料は返還されません。

### 欠席時の連絡

講義を欠席する場合は、必ず前日までに事務局までE-mailまたは電話にてご連絡ください。

### 附属図書館の利用

受講生は図書館の利用が出来ます。受講証を附属図書館のカウンターに提示し、貸出の手続きを行ってください。

利用については附属図書館のホームページ（<http://www.lib.u-toyama.ac.jp/>）をご覧ください。

### 損害賠償

受講生が本学の設備等を破損したときは届け出てください。その損害を賠償して頂くことがあります。

### 通学方法

駐車場の指定はありませんが、産学連携部門施設の近くに駐車してください。

駐車に関するトラブルや自動車事故が起きた場合、本学では責任を負いかねますのでご了承ください。